

規格外イチゴの活用

～ビジネスモデルの構築と農福連携の推進～

12 つくる責任
つかう責任



茨城新聞社



UmeHaRa FarM
梅原農園



那珂市
CITY OF NAKA

ナカ
カカ

那珂市地域おこし協力隊
community revitalizing cooperative squad

KEiSEI



水戸農業高校 農業研究部



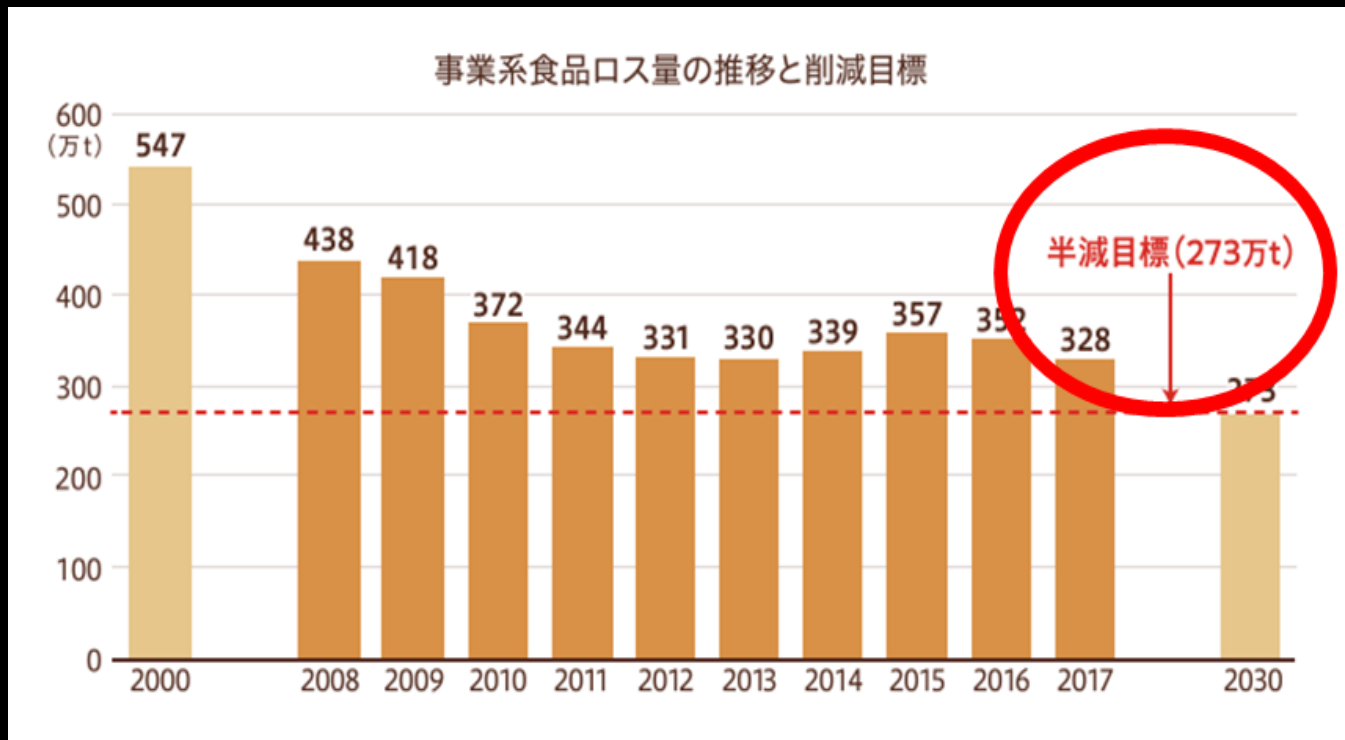
衝撃の事実！ 食品ロスの現状

年間612万トン

東京ドーム 5 個分



©いらすとや



日本の食品ロス数値目標
2030年度までに半減

世界共通の課題



出典/食品ロスおよびリサイクルをめぐる情勢 (農林水産省)

畑の食品ロス・隠れ食品ロス

規格外野菜

出荷前に行われる 消費者の目にはみえない



曲がっている
傷が付いている
色が薄い
太さが足りない



過剰生産
需要の低下

年間
200万トン

畑の食品ロス・隠れ食品ロス

地元のイチゴ農園での出来事



もったいない！！

見た目が悪いだけで、
一日あたり50キロも捨てられていた



私たちにできること



将来



12 つくる責任
つかう責任



「つくる側」になる私たちの使

イチゴの生パスタ開発

モチモチした食感で美味しい

いろいろなバリエーションを楽しめる

完成!

太麺

タリアテッレ

細麺

スパゲティ

嗜好性
季節性

+

汎用性
希少性

+

ファミリー層に訴求





GENOVA PASTA FRESCA
水戸農業高等学校 × 栃原農園
ストロベリー
Strawberry
生パスタ
GENOVA PASTA FRESCA

GENOVA PASTA FRESCA
水戸農業高等学校 × 栃原農園
ストロベリー
Strawberry
生パスタ
GENOVA PASTA FRESCA

新作フレーバー ウメの生パスタ



ウメの
生パスタ



さわやかな
酸味

ペペロンチーノ
和風ソース
に最適



新作ショートパスタの商品開発

コンキリエ



ショート
パスタ



大会のお弁当として好評

フジッリ



SNS (FAXやお手紙) での交流 「#イチゴパスタ食べました」



茨城県立水戸農業高等学校
#イチゴの生パスタ



マウロのシンプルパスタ
(ズッキーニ ミントマ
ト アスパラ)



マウロのシンプルパスタ
(ズッキーニ ミントマ
ト アスパラ) 2



マウロのシンプルパスタ
おいしいよ



牛肉とトマトのイチゴパ
スタ-ゴショウとハーブた
っぷり-



細麺パスタのチンシ
ロス風



さまざまな場所で活動しました



**販売累計
10000食突破！**



収支計画

収支計画

150円
で販売

初年度
107万

経費

売上高

売上原価（仕入高）

人件費

家賃

広告宣伝費

その他

1年後

5年後

185万円

1072万円

61.5万円

330万円

36万円

195万円

0万円

180万円

0万円

0万円

10万円

60万円



みんなが幸せになる未来のカタチ

「隠れ食品ロス」削減



農業者の所得アップ



加工業者の売上アップ



私たちが目指す未来のカタチ
SDGsを原動力とした地域創生
経済と環境の好循環の創出

提携する
廃棄量60%



地域活性化



「隠れ食品ロス」の認知度アップ

新たなコミュニティ



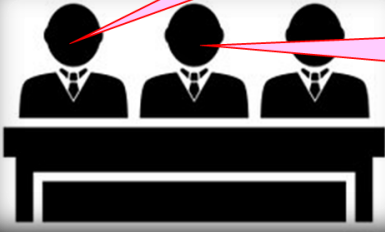
多くの方からのアドバイス



SDGsも重要だが、食品のプランなら、味の評価をきちんとすべき！

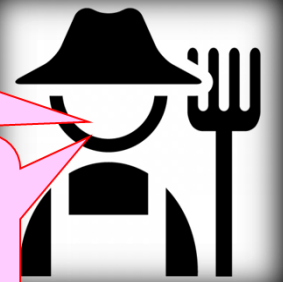
商品を普及させるには、用途に合わせた商品展開が必要なのでは？

商品を作る過程にも、SDGsの考えを組み込んでみてはどうか？



規格外のために送料はかけられない

規格外の野菜が売れると正規品が売れなくなる



児童福祉や食育活動にも力を入れてほしい



農業高校の農産物販売禁止



捨てるものにエネルギーを投下することが、果たしてエコなのか



農福連携の推進

障害を持った方
でもできそう

那珂市障がい者
支援施設との交流会

農福連携
の推進

8 働きがいも
経済成長も



イチゴのペースト
づくり



児童福祉

食材の寄付

那珂市こどもの
“食” 応援プロジェクトへ



地域のボランティア活動

小学生を対象にした、農産物
販売体験のボランティア



家計の大変な世帯に属する
「こども」の「食」応援プロジェクト
寄付募集中



後述のコロナ禍の影響や、ひとり親世帯の増加などにより、生活が大変な世帯が増えています。そうした子育て中の世帯では、食材みや生活必需品などの価格の値上がり・値下げは仕方がなく、どうしても食費を捻出するに苦労している状況があります。

那珂市社会福祉協議会では、「食生活サポートセンター」と「こども食育・こども産物販売会」を通じて「子どもの食」のサポートをしています。これまで、那珂市社会福祉協議会、団体・学校・個人などからの寄付を中心に食料や日用品を定期的に提供して参りましたが、対象世帯も増えつつあり、多くの世帯への寄付が必要になって参ります。

ぜひ、貴社もご賛助のうえ、寄付にご協力いただけますようお願い申し上げます。

寄付の目安
1ヶ月あたり
1,000円
10,000円
100,000円
1,000,000円
10,000,000円
100,000,000円
1,000,000,000円

◆寄付の方法◆

物資の寄付
1. 1月1日～31日までの間に「食生活サポートセンター」事務局にお申し込みください。
2. 申し込み後、事務局よりお申し込みの品目・数量・お届け先を確認させていただきます。
3. 確認後、事務局よりお申し込みの品目・数量・お届け先を確認させていただきます。

金銭の寄付
1. 毎月1日～31日までの間に「食生活サポートセンター」事務局にお申し込みください。
2. 申し込み後、事務局よりお申し込みの金額を確認させていただきます。
3. 確認後、事務局よりお申し込みの金額を確認させていただきます。

※お問い合わせ先：那珂市社会福祉協議会事務局
〒317-0001 那珂市中央1-1-1 那珂市社会福祉協議会事務局11
TEL (029) 229-0309 FAX (029) 236-1002
E-MAIL: shakyo@shakyo.net, shi@shakyo-shakyo.net
※お問い合わせ先：那珂市社会福祉協議会事務局

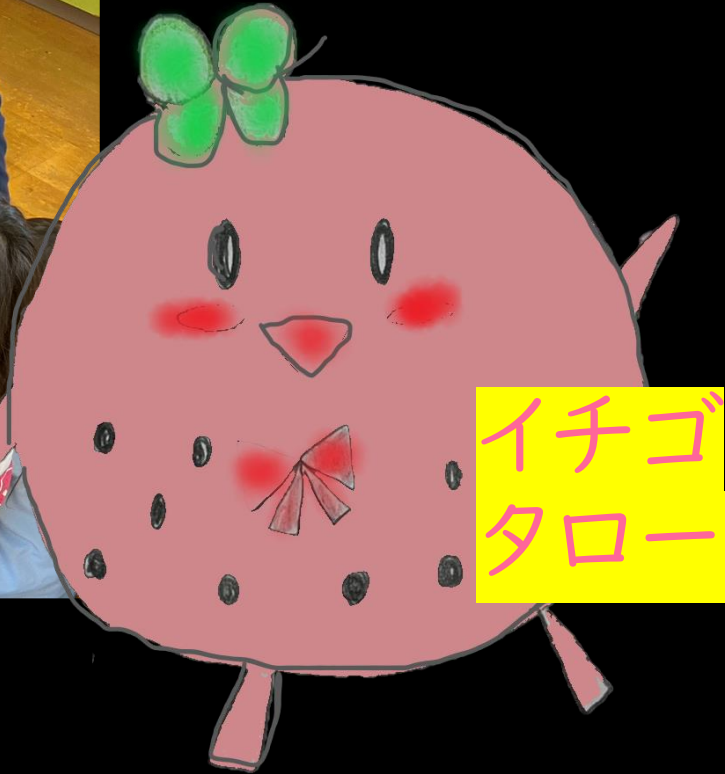
◆お問い合わせ先◆
社会福祉法人那珂市社会福祉協議会
那珂市中央1-1-1 那珂市社会福祉協議会事務局11
TEL (029) 229-0309 FAX (029) 236-1002
E-MAIL: shakyo@shakyo.net, shi@shakyo-shakyo.net
※お問い合わせ先：那珂市社会福祉協議会事務局



紙芝居の作成 幼稚園での紙芝居読み聞かせ

幼稚園で読み聞かせの様子

タブレット使用



イチゴ
タロー

活動を発展
させるために

法人化に向けた取り組み

生産



自分たちで生産物を栽培・加工

会社名
コーポレートカラー
事業内容
役員組織
定款



ロゴ コーポレートカラー



開発

企業とコラボ
した商品開発

販売

販売会やイベント
の企画・運営

戦略

事業戦略の考察

地域貢献事業を展開

貢献

農業高校生の活動をPR

広報

活動のブラッシュアップ

★嗜好性の高い**フルーツに特化**する

★規格外野菜そのものを販売しない

★加工品にすることで、**生産者との競合を防ぐ**

★**加工する**（ペーストにして冷凍、乾燥等）

→ 長期保存

→ 2次的なロスを防ぐ + **小ロットでの受注**を可能に

★ひとつのフォーマットに集約

→ **集荷・配送のコストを減らす**

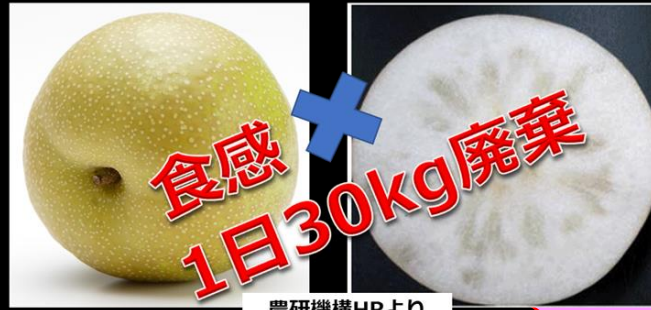
今後の課題・今後の活動展開



廃棄野菜を活用したコンポスト

肥料の高騰に苦しむ農家に販売

集荷・配送コストの削減



蜜症とは
果肉の一部が半透明の水浸状となること。

新たな商品開発

蜜症ナシのドライフルーツ

エネルギー
収支の算出

利用者が少ない時間帯の路線バスを活用

バスの営業所を集荷場として活用



最後に・・・

私たちが目指す**未来のカタチ**

SDGs を原動力とした**地域創生**
経済と環境の**好循環**の創出

